

Tokyo Holocaust Education Resource Center launches

“Story of Janos and Steven”

ヤーノシュとスティーブンの物語

第二次世界大戦時のヨーロッパで、約 600 万人のユダヤ人が「ユダヤ人である」という理由で殺されました。この虐殺から生き延びた人が日本に暮らしています。当時 7 歳だったヤーノシュ・ツェグレディさんです。近年その辛い体験を日本の中学生、高校生たちに初めて語っていただきました。2017 年から 2 年間の交流を続けて、この度ビデオ教材を制作しました。ニュージーランド在住のお兄さんスティーブンさんも協力してくれました。1 月 27 日のホロコースト国際デーに公開します。ヤーノシュさんが体験したこと、そして今の世界について思うことを、ぜひご覧ください。

Janos Cegledy, who survived the Holocaust at the age of 7, lives in Japan. He recently started sharing his story with Japanese students. Tokyo Holocaust Education Resource Center created a short film from conversation between Janos and students for the past two years. Janos's brother, Mr. Steven Sedly, a founding member of the New Zealand Holocaust Center, also shared his memories with us.

「ヤーノシュとスティーブンの物語」(35 分)

ナレーター		近藤範弥
協力		ヤーノシュ・ツェグレディ、スティーブン・セドレー イスラエル大使館、鎌倉学園中学校高等学校、湘南学園中学校高等学校 東京女学館中学校高等学校
助成		ドイツ連邦共和国大使館
制作		NPO 法人ホロコースト教育資料センター(Kokoro)



Please watch here. 下記のリンクよりご覧ください。

<https://www.npokokoro.com/janos>